

## 平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

### 佐賀市立神野小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

#### ■ 調査期日

平成28年4月19日(火)

#### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童（実施児童数 133名）

#### ■ 調査の内容

##### (1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A, 算数A〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B, 算数B〕
<ul style="list-style-type: none"><li>身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li><li>様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容</li></ul>

##### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況, 児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

#### ■ 調査結果及び考察について

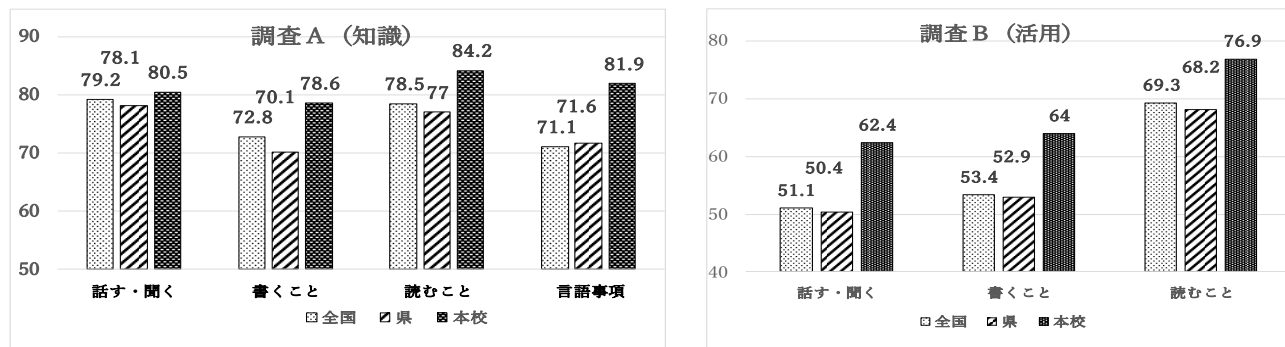
全国学力・学習状況調査は小学6年生が対象であり、教科は国語と算数に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語

#### (1) 結果

全国及び県正答率との比較



調査 A, 調査 B とも全ての領域で本校の正答率が全国平均を上回っています。昨年度同様どの領域においても、正答率が県平均、全国平均を上回っています。それぞれの領域で求められる力を意識した授業を行うとともに、計画的な家庭学習や読書活動の奨励をしています。このような取組が結果に表れていると考えられます。

#### (2) 成果と課題

##### 話す・聞く

・質問の意図をとらえながら聞いたり、話の展開に沿って質問したりする問題で、全国平均を大きく上回っていました。一方で、目的に応じて質問したいことを整理したり、目的や意図に応じて収集した情報を関連づけて話し合ったりすることに課題があることがわかりました。

##### 書く

・生活習慣を表すグラフを基に数値を読み取りあてはまる内容を選択する問題では、9割以上の正答率でした。すべての問題で全国平均を大きく上回っていました。一方で前述のグラフを基に分かったことを書くという問題では、全国平均を上回っていたものの、問われていることの意味を理解し、解答を見つける設問の正答率が低く、課題があることがわかりました。普段から教科を問わず「成果」と「課題」についてまとめて書くことに慣れさせていきたいと思えます。

##### 読む

・無回答率が低く、短時間に要旨を読み取る力がついてきています。情報量が多い文章の内容を読み取り、要点を整理することに課題が見られます。授業においても、条件をつけてまとめるような問題に取り組ませていきたいと思えます。新聞、コラムなど様々な文書を読ませることも必要だと考えています。

##### 言語事項

・漢字やローマ字の読み書きなどの言語事項については、すべての項目で全国平均を上回りました。新出漢字の学習では、音読みや訓読みなどの学習だけでなく、様々な使い方を調べたり、学んだ漢字を使って作文を書いたりする学習も重視していきたいと考えています。

#### (3) 学力向上のための取り組み

##### 【学校では】

- 「話す・聞く」場面を多く設定し、話す時の目的や意図などの観点を示して話をさせ、聞く時にも同じ観点で聞くような学習を取り入れます。また、聞き手の評価を基に話し手としての自分の話を振り返らせるような指導も取り入れていきます。
- 読むことと書くことを関連させた学習を重視し、読み取ったことを基に話し合ったり、話し合ったことを基に書いたりする活動に取り組ませることで双方の力を伸ばしていきたいと考えています。

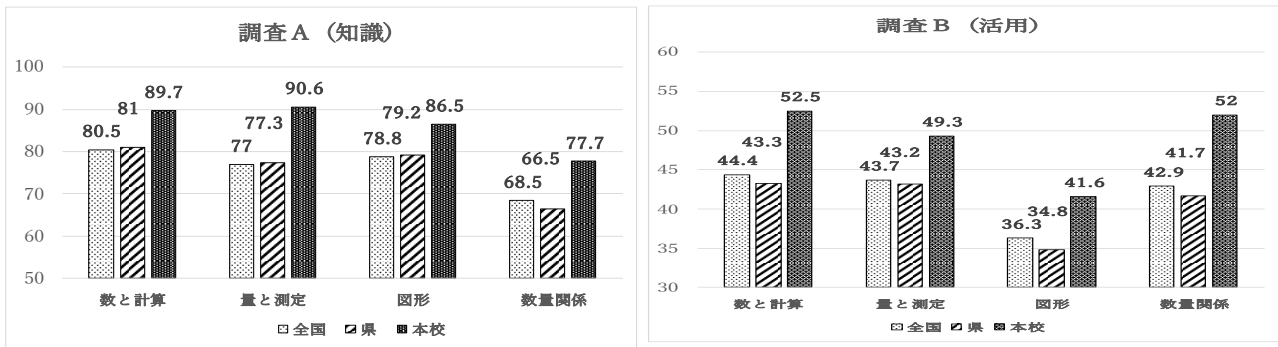
##### 【ご家庭では】

- 繰り返し音読することで、文の構成、内容を理解することができるようになります。音読については、毎日聞いていただくようお願いいたします。文章を読み、要旨や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上につながります。
- 新聞のコラムやニュースなどを話題にあげ、表現の良さ、書き手の意図などについて、話題に取り上げてみてください。さらに、新聞記事等の内容を要約するとともに、自分の感想や意見を織り交ぜて、自学ノートにまとめる活動に取り組ませてください。
- 日頃から身近に辞書を置いて、お子さんに語句の意味を調べさせてください。

## 2 算数

### (1) 結果

### 全国及び県正答率との比較



調査A, 調査Bとも全ての領域で本校の正答率が全国平均を上回っています。本校では全学年を通して統一した学習過程やノート指導を行い、各学年で身につけなければならない基礎的な学力の定着に努めています。また本校独自の「そろばんタイム」(中学年)などを設定しています。このような取組が結果に表れていると考えられます。

### (2) 成果と課題

#### 数と計算

・どの設問においても全国平均を上回っており、計算力が定着していることがうかがえます。小数のわり算の性質を問う問題では、他の問題に比べ正答率が低くなっていました。学年が上がるとともに学習内容は難しくなります。既習内容を振り返らせる場面を設定した授業を多く取り入れていきます。

#### 量と測定

・単位量あたりの大きさの求め方や、三角形の面積の求め方などの正答率が高く、必要な条件をとらえ、問題を解決する力がついてきていると考えられます。角度に関する応用問題では、示された四角形を並べてできる図形を選ぶ問題で誤答が見られました。量と測定については、およその大きさについて量感を伴って理解できるような活動を重視していきます。

#### 図形

・図形の学習においては、図形を並べたり、かいたりする活動に力を入れてきた成果が表れてきたと考えられます。説明を求められる問題においても力を発揮できるように、今後も図形の定義などと照らし合わせながら、自分の言葉で説明する場を設定していきます。

#### 数量関係

・2つの数量関係を関係図や数直線図でとらえさせたり、これらの図で表現させてきたりした成果が表れてきたと考えられます。数量の関係をとらえ説明する問題において課題が見られるため、数量関係を正しくとらえた上で、その関係を説明するような問題にも取り組ませていきたいと考えます。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 課題解決型の学習を継続するとともに、自分の学び具合を意識しながら学習を進める授業を展開し、自己評価力の向上を目指していきます。
- 算数的な活動を重視し、見通しをしっかり持たせ自分の考えを図や式、言葉を使って筋道を立てて表現させるようにします。
- 少人数授業を積極的に取り入れ、子どもの実態に応じた指導に努めます。

#### 【ご家庭では】

- 毎日の家庭学習の様子に目を配り、つまづいているところを一つ一つ解決していくよう言葉かけをしてください。また、根気よく課題に取り組んでいる姿や自学ノートで進んで学習を進めている姿を、大いにほめてください。
- 買い物、登下校や遊びなど生活の中に算数でとらえられる場面がたくさんあります。計算や図形、時間や時刻など、その機会をとらえ、楽しく算数を身につけるような声かけをお願いします。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果

##### 《生活習慣について》

調査項目	本校%	全国平均%
朝食を毎日食べている	97.0	95.5
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	81.9	80.1
毎日、同じくらいの時刻に起きている	89.5	90.8
平日2時間以上テレビ、ビデオ、DVDを見たり、聞いたりしている	48.8	57.1
平日2時間以上ゲーム(PC・携帯・スマートフォン等)をしている	27.8	29.7
平日、読書を30分以上している。	33.8	36.5

- ・朝食・就寝については、全国平均を上回っており、起床についても全国平均並で、生活のリズムはおおむねできていると考えられます。
- ・テレビやゲーム等については、全国平均より低い結果ですが、長時間のテレビやゲームが日常化している児童もいるようです。
- ・読書については、全国平均を下回っているため、読書の良さを伝え、「読書週間」「お勧めの本60冊」など読書環境を整えていきます。

##### 《家庭学習の様子》

調査項目	本校%	全国平均%
平日、2時間以上勉強している(学習塾を含む)	37.6	25.5
土日、2時間以上勉強している(学習塾を含む)	33.1	24.2
宿題をしている(どちらかというとも含む)	98.5	97.0
予習をしている(どちらかというとも含む)	57.9	43.3
復習をしている(どちらかというとも含む)	72.9	55.2

- ・平日も休日も家庭学習(学習塾を含む)をたいへんよくしており、全国平均を上回っています。
- ・学習内容については、宿題、予習もよくしており、復習については全国平均をかなり上回っています。個々の意識に差があり、それぞれの学習時間の差に直結していると思われます。さらに家庭学習の質・量ともに上げていく必要があると考えます。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 毎日、「音読」「漢字」「算数・国語のプリントやドリル」を基本に宿題を出します。自主学习メニューを紹介して、自主学习(自学)においても学年や児童の興味・関心に応じた内容に取り組むよう促し、学習内容の定着を図ります。
- 「生活がんばり習慣」「元気もりもり週間」等の取り組みを通して、生活習慣や読書習慣の向上に努めます。

##### 【ご家庭では】

- 生活習慣リズムはおおむねできています。「早寝・早起き・しっかり朝ごはん」の習慣を続けていくよう心がけてください。一日を元気に過ごし、学習の効果を高めるためにも「朝ごはん」は栄養のバランスを考えたものをしっかり食べて登校させるようにお願いします。
- 学校での学習効果をより高めるために、前日に学習の準備を済ませ、忘れ物等がないように声掛けをお願いします。
- テレビ、ゲーム、携帯、スマートフォン等の使用については、ご家庭で時間やルールを設けて、学習習慣や生活環境を整えるようにお願いします。